

岩手県野田村支援活動報告

(2011年6月8日)

●活動報告1 作道信介(教員事務局)

5時20分、弘前大学正門前に事務局は全員集合しました。本日は、学生事務局が人文の堀さん、理工の田上君、教員は私(作道)でした。ヘルメットや配布物を用意していると、参加者が続々と集まってきました。堀さんは出席の確認に忙しい。予定通り、市役所経由でバスがきて、5時50分に出発した。高速道路を降りて、恒例で、「道の駅おおの」で全体写真とって、9時には野田村役場前に着きました。道中は学生事務局のふたりがテキパキと進めていく。道中、市民参加の方と楽しく話しながらです。広報に力をいれてほしいとか、高校生にも体験させたいとか、お話をしながら現地へ向かいました。



写真1 全体写真(花を持った人がいる!!)



写真2 畑の片付け

この日の参加者は、学生9人、一般23人、教員2人の計34人でした。男性12人、女性22人です。学生が少なく、女性が多いチームで現地に臨んだわけです。ボランティア・センターで、仕事のふりわけを受けました。3班に分かれて作業をしました。15人で体育館での物資の仕分け(女性15人)、公衆トイレのガレキ撤去(女性3人)、畑のガレキ撤去(女性2人、男性12人)です。2人は仮設住宅をまわって別働隊です。

ちょうど弘前から夫婦でボランティアに来た知人に出会ってびっくり。「前から来たかったが、びびっていて、やっと来ることができました」。弘前の野田村支援を知っていたとのことです。いっしょにガレキ撤去に加わってもらう。ここでは、私が参加したガレキ撤去班について報告します。

弘前の野田村支援を知っていたとのことです。いっしょにガレキ撤去に加わってもらう。ここでは、私が参加したガレキ撤去班について報告します。

リーダーのもと、必要なシャベルなどの道具、ネコ、土嚢袋を用意し、予定の場所まで案内してもらおう。畑の表面に流れ着いたガレキやゴミを集める作業でした。

10時半ごろには終わって、次のお宅へ。津波の被害を免れたお宅の庭のガレキ撤去だ。といっても1階は天井までガレキが詰まっていたとのこと、あらためて津波のすさまじさを感じました。作業とは別にご主人に改修中の家のなかを見せていただきました。ご主人は、ひとつひとつの部屋の造作や思い出を語ってくださいました。4月になって弘前大学が来てくれると聞いて安心したとも言われたので、感謝でした。

ちょうど昼になったので、昼食をとりにバスに戻る。仕事開始は



写真 5 働くときは働く！



写真 4 ねまる（休む）ときはねまる！！



写真 6 今日の仕事

1時すぎ。あと2時間なので、リーダーが目標区画を設定しました。やみくもに仕事をするのではなく、労力を集中しようというのです。細かいガレキ（もとはどなたかのお宅の生活の断片）をスコップや手で集めて、ネコ車（一輪車）にのせ、大きな土嚢袋にまとめていく。今日は学生が少なく、ベテラン勢が多かったが、手際よく仕事が進んでいく。さすが、経験のちがいです。リーダーも冗談をいれ、少し疲れた人（私のこと）をみかけるとすかさず休憩をいれてくれます。楽しい冗談がとびかう集団作業となりました。3時すぎに、この日の作業を終了しました。

帰りのバスではいつものように、感想を話しあい、2回、歌を歌い弘前に到着しました。

別班の方からも報告をいただきました。トイレのガレキ掃除を担当した学生さんからは「グループの人数が少なかったため、みんなでアイディアを出しあって問題を解決できた、小まめに

休憩を入れたことで最後まで作業できた、作業中も声を掛け合いながら作業できた」という充実した報告です。

仕分けをした堀さんからは次のような報告がありました。

物資の仕分け作業は、野田村の方からの依頼が書かれた紙通りに、個人宅別に物資を仕分ける作業だった。私達は女性 15 名でこの作業を行った。私は前々回もこの作業を行ったが、物資の山が少し低くなっているような印象で、物資の品切れなどもちらほら出ていた。担当したのは二世帯分で、分量はそれほど多くなかった。前々回も感じたことだが、仮設住宅に住んでいる方の要望は必要最小限のものであるが、現在も自宅に住んでいる方からの要望は、仮設住宅に住んでいる方に比べかなり分量もあり、本当にこんなに必要なのだろうかという疑問に思ってしまうほどだった。気温も高くなり、夏服が欲しいところだが冬服ばかりが目立っていたのが気になった。

また、仮設住宅をまわった方からは、津波の被害を話してくれる方が何人かいたが、何と答えればいいかわからなかった、いまでも考えていますが、答えは見つかりませんという感想もいただきました。徐々に、野田村の方とお話をし、思いに接する機会も増えてきました。自然なかたちで、支援から交流へと広がっていくことができたと思います。

野田村のボランティア・センターによれば、連休を境にボランティア数が減少しているという。ちなみに、この日は 2 団体、13 個人で、全体で 60 人のボランティアが出動しており、平日にしては多い方だという。最近、平日は 30 人前後にすぎないとのことでした。継続して一定数のボランティアを送り出すことが大事だとあらためて思った次第です。